

国際都市再開発ゼミ PART 2 (フランス編)

当協会では、欧米4カ国（米、仏、独、英）の再開発事業に携わる実務専門家を招聘し、今日の都市再開発事業成立に関する有益な推進方策を探ることを目的とし、シリーズで国際ゼミを開催しております。

第1回目は、昨年7月にアメリカ・ロサンゼルス市地域再開発公社のジョセフ・ノセラ氏をお招きし、米国ロサンゼルス市の都市開発について開催しました。

第2回目は去る4月20日（木）午後より、フランスで都市再開発事業を実施している経済混合会社から、パリ東部経済混合会社（SEMAEST）の事業最高責任者であるJ.W.スフロン氏とフランスに在住されているP.S.K.総合研究の広岡裕児氏をお招きして開催しました。

当日は、65名を超える参加者で会場は熱気が溢れ、国際委員会副委員長である南部繁樹氏（㈱都市構造研究センター）の司会のもと進行されました。レクチャー終了後には、参加者より積極的な質疑があり、国際都市再開発ゼミは盛況裏に終了いたしました。



左からJ.W.スフロン氏、南部繁樹氏、広岡裕児氏



SEMAESTの経緯、事業事例等について語るJ.W.スフロン氏



フランスの都市再開発法等について詳細な説明を行なう広岡氏



会場の様子

SCHEDULE & CONTENTS on LECTURE

（司会：南部 繁樹、 通訳：広岡 裕児 / 当協会会員・パリ在住）

13：30～14：15（45分）

14：30～16：30（120分）

レクチャー1 / 広岡裕児氏

- (1) フランスの都市再開発関連法
 - ① 法制定の歴史の変遷
 - ② 法制度の体系
- (2) フランスの都市再開発事業
 - ① 事業スキームの特徴
 - ② 都市再開発事業の手順
- (3) 経済混合会社（SEM；三セク）の内容
 - ① 成立と役割
 - ② SEMの要件など

レクチャー2 / J.W.スフロン氏

- (1) SEMAESTについて
 - ① SEMAESTの設立と経過
 - ② SEMAESTの組織と業務内容
- (2) 再開発事業の進め方
 - ① パリ市、市議会との関係
 - ② 民間企業との関係
- (3) 事業事例など
 - ① 事業のプロセスと資金、体制
 - ② 住民との対応と外部専門家との関係